

ニュースリリース

ご担当者様 各位

2013年1月



ケニア「モンバサ港建設工事」の起工式が執り行われました

昨年12月5日、ケニア共和国大統領をはじめとする関係者が一堂に会し、「モンバサ港建設工事」の起工式が執り行われました。

当社は、ケニア共和国ケニア港湾公社発注の、「パッケージ1 モンバサ港コンテナターミナル建設工事」を単独受注し、これまで準備作業を進めてきましたが、主要工種である海上工事の本格着工段階を迎えました。

工事現場の海上には、各国から輸入した大型浚渫船を含む作業船団が集結し、その中には、当工事の受注を機として、アジア・アフリカ地域における多様な海上作業に対応するために新造した杭打船兼クレーン付台船「TOYO SIMBA (トーヨー シンバ)」も配置されています。

今回の起工式は、このように工事が本格化していくなか、施主であるケニア港湾公社の主催により執り行われたものであります。

当日は、ケニア共和国からムワイ・キバキ大統領をはじめ、各部門の大臣、政府高官、ケニア港湾公社関係者、日本側からは、高田稔久 在ケニア日本国大使、江口秀夫 独立行政法人 国際協力機構(JICA)ケニア事務所長、株式会社日本港湾コンサルタントの吉田哲生 代表取締役副社長、当社社長 毛利茂樹が参列いたしました。

式典は、会場に展示されたモンバサ港の図面及び当工事の完成模型による大統領への工事説明、大統領による記念樹の植樹、記念碑の除幕、「TOYO SIMBA」の杭打設による着工開始のセレモニーの順で進められました。またケニア伝統の歌や踊りも披露され、午前中から始まった式典は夕方まで盛大に行われました。

来賓挨拶のなかで、当工事は日本政府が独立行政法人 国際協力機構(JICA)を通じて供与する円借款で実施されること、そしてなによりもコンテナ貨物取扱量が増加している現在、モンバサ港の能力向上は極めて重要な施策であり、当工事がケニア共和国のみならずアフリカ経済発展にとっていかに重要なものであるかということが切に述べられ、このような国家的プロジェクトに携わることができることを施工業者として大変光栄に思い、誇りに感じました。

今回のこのような盛大な起工式に参列させていただき、身の引き締まる思いを改めて感じています。今後この気持ちを忘れることなく、工事の完遂に向け、当社の技術力を総結集して工事を進めてまいります。



ムワイ・キバキ大統領を出迎える毛利社長



記念碑の除幕



高田稔久 在ケニア日本国大使



TOYO SIMBA 鋼管杭の打設初め



杭打船兼クレーン付台船 「TOYO SIMBA」